食品産業技術革新成長のメッカ

FOODPOLIS

韓国食品産業クラスター振興院

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

FOODPOLIS
韓国食品産業クラスター振興院

CONTENS

06 ご挨拶

07 **Ⅰ. 韓国食品産業クラスター振興院のご紹介**
08 沿革
09 概要
10 ビジョンと経営目標

11 **Ⅱ. 国家食品クラスター投資と入居案内**
12 国家食品クラスターのご紹介
13 入居企業の現状
14 分譲基本条件
14 財政と税制優待
14 外国人投資企業の租税減免特待

15 **Ⅲ. 企業支援施設ご紹介**
17 韓国食品産業クラスター振興院
18 食品パッケージングセンター
20 食品品質安全センター
22 食品機能性評価支援センター
24 パイロットプラント
26 食品ベンチャーセンター
28 ソース産業化センター
30 HMR技術支援センター
31 農食品原料中継供給センター('21年竣工)
32 機能性食品製剤センター('22年竣工)
33 青年食品創業センター('23年竣工)
34 機能性原料バンク('23年竣工)

35 **Ⅳ. 企業育成・支援プログラム**
36 ビジネス相談所
37 食品創業踏み石技術支援
38 青年食品創業Lab
39 人材育成支援
40 人材及びマーケティング支援：ビジネス活性化支援
40 食品企業雇用支援
41 物流・マーケティング支援
42 ビジネスプラットフォーム支援(オン・オフラインフードマーケット)
43 専門コーディネーター連結支援(短期技術支援)
44 技術開発支援：韓国食品世界へ　技術支援(中期技術支援)
45 開放型装備の共同利用支援
46 ソース伝統醤類　革新成長支援
47 国内農産物原料中継支援
48 圏域別産学研 協議体技術支援
49 産学研交流協力の現状

50 食品企業のための付帯施設
51 アクセス

ご挨拶

こんにちは。

国家食品クラスターは国家の食品産業をリードする国内の有望食品企業が毎年着実に入居しており、青年創業•ベンチャー企業の成長支援で、アイディア豊富な青年たちが夢を広げる機会があります。

私たちは世界レベルの企業支援施設を活用して、企業の高付加価値創出のための技術支援と人材、マーケティング、輸出、許認可などのそれぞれの企業に合わせたコンサルティングにより、起業しやすい環境を提供しています。

食品振興院は、国家食品クラスターを「食品産業技術革新成長のメッカ」として育成し、大韓民国の未来を導いて行く食品企業の成功パートナーとして、常に共に歩んでまいります。

ありがとうございます。

理事長 **キム・ヨンジェ**

I

韓国食品産業クラスター振興院のご紹介

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

韓国食品産業クラスター振興院

沿革

2008

’08.12　国家食品クラスター造成基本計画発表

2010

’10.01　食品産業振興法　国家食品クラスター支援センターの設置根拠準備

2011

’11.02　国家食品クラスター支援センター発足

2012

’12.07　国家食品クラスター総合計画(マスタープラン)を発表

2013

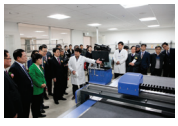
’13.12　企業支援施設建築設計完了

2014

’14.10　国家食品クラスター支援センター一時研究所開設

2016

’16.09　国家食品クラスター6大企業支援施設竣工
’16.11　国家食品クラスター着工1号企業(BTC)



2019

’19.02　国家食品クラスター支援センター、公共機関指定
’19.11　ソース産業化センター開所式

2020

’20.01　機関の名称変更
国家食品クラスター支援センター→韓国食品産業クラスター振興院

2021

’21.03　HMR技術支援センター開所
’21.04　第1号　シニア産業支援センターに指定

概要

韓国食品産業クラスター振興院

設立目的

- 食品企業・研究所・関連産業などが集積された国家食品クラスターを造成し、食品業界のグローバル競争力を強化、そして農漁業の成長を牽引し、北東アジアの食品市場ハブとして育成

設立根拠

- 食品産業振興法　第12条の2

主な機能と役割

- 国家食品クラスターと食品産業集積に関する政策開発と研究
- 食品専門の産業団地の造成及び管理に関する事業
- 国家食品クラスター参加企業・機関の支援事業
- 国家食品クラスター参加企業および機関間の相互連携活動促進事業
- 国家食品クラスター活性化のための研究、対外協力、広報事業
- その他農林畜産食品部長官が委託する事業

ビジョンと経営目標

ビジョンと戦略目標

「食品産業技術革新成長のメッカとして位置づけ」

創業からグローバル企業に成長生態系を造成

核心価値

- 将来価値
- 革新成長
- 専門的能力
- コミュニケーション協力

戦略目標

- 未来食品技術競争力強化
- 食品革新生態系を有効に
- 輸出・販路前進基地跳躍
- 持続可能なマネジメントシステムの構築

16代戦略課題

カスタム技術開発支援	食品リード名品団地育成	海外輸出拠点競争力強化	社会的価値実現経営
グローバルレベル認証サービス提供	食品ベンチャー・青年創業支援	国内販路支援チャンネル拡大	機関革新成果創出
未来食品技術トレンド迅速対応	企業の成長と経営改善支援	農食品原材料中継供給センター構築	未来志向組織文化具現
技術革新ネットワーク構築活用	食品企業の育成新インフラ構築	食品情報プラットフォーム構築・運営	新成長動力創出基盤造成

経営目標

1段階 2020-2021

国内優秀公共機関と同等のレベルの機関競争力の早期確保

技術革新装備などのインフラ新規構築、事業推進専門と競争力の確保、経営システムと制度改善の推進など

2段階 2022-2023

国家食品クラスター活性化のための企業支援の強化と追加インフラの拡充

成果志向的投資誘致、企業工場可動高速化、原材料供給センター及び機能性食品製剤センターの建設などインフラ拡充、食品ベンチャーと青年雇用創出の強化など

3段階 2024-2025

国内第1の食品産業革新公共機関位相確保

食品企業の技術革新と輸出競争力向上などの食品産業の発展をリード、国民への認知度向上などの食品産業革新公共機関での位置確保

Ⅱ

国家食品クラスター
投資と入居案内

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

韓国食品産業クラスター振興院

国家食品クラスターのご紹介

国家食品クラスターを紹介します。

国家食品クラスターは、研究開発と輸出中心の食品産業を育成するために造成された食品専門産業団地です。
韓米FTAの後続対策として推進され、食品産業の成長と輸出拡大を通じて、 国内農産物の消費を促進させます。
食品振興院は食品企業や研究機関などを集積し、国家食品クラスターをグローバル食品市場の新しい中心として育成します。

入居企業の現状

国内の有望食品企業100社以上と、研究所3社、40社の食品ベンチャー企業が入居しています。(2021年4月末基準)

鶏加工食品	キムチ	HMR	醤類	アロエ飲料	発酵飲料	健康機能食品
健康機能食品	乳酸菌	コーヒー	バウムクーヘン	米加工	キムチ	健康機能食品
乳清	フルーツ乾燥チップ	箱詰め	のり加工	健康機能食品	果物・野菜のピクルス	健康機能食品
ニンニク加工	果物、チーズ、乾燥チップ	コーヒー、紅参	健康機能食品	肉加工(家禽類)	シッケなどのドリンク、ソース	米加工
健康機能食品	ソース、スープ類	健康機能食品	健康機能食品	健康機能食品	キムチ	ミニサツマイモ
大豆加工	ミールキット	健康機能食品	健康機能食品	シッケ	加工肉	HMR
サツマイモ加工	お弁当類の製造	コーヒー	濁酒、マッコリ	健康機能食品	お弁当類の製造	餅類
だし汁	HMR	パッケージ	肉加工	味付け海苔	健康機能食品	肉加工(家禽類)

分譲基本条件

- **位置：全羅北道益山市王宮面一帯**
- **面的：2,321,928㎡**
- **誘致業種：食料品製造業、飲料製造業および関連業種**
- **分譲価格：㎡当たり151,288ウォン(3.3㎡当たり500,128ウォン)**
- **納付条件は、契約金10%、中途金と残金5年分割納付(無利子)***

  * 土地代金を一括納付または前納する場合には、前払い割引(年2.5%)追加優待

- **土地代金20～30%以上の納付時70～80%ローン可能**
- **分譲と入居における全過程を1:1のコンサルティング支援**

財政と税制優待

- 国家食品クラスター入居企業の租税特例制限法の適用(法人税3年免除、2年50%減免)

  ※ 租税特例制限法改正(2019. 11. 26)

類型	地方投資促進補助金 (国庫+地方費)	投資補助金 (地方費)	租税減免	
			法人税	地方税
首都圏移転企業	土地投資30% 設備投資19%*	10億ウォン超過金額の 10%(全羅北道)+ 5%(益山市)以内	5年免除+ 2年50%減免	取得税(1回)+ 固定資産税(5年間) 75%減免
新設・増設	設備投資19%*		3年免除+2年50%減免 (租税特例制限法改正)	
投資インセンティブ	雇用補助金、教育訓練補助金、労働定着補助金など多数			

* 地域特性業種：(1012)肉加工、貯蔵処理業、(1075)弁当及び食事用調理食品製造業　(1079)その他の食料品製造業

外国人投資企業の租税減免特待

- **地方税：取得税・固定資産税15年間100%免除**
- **入居条件：外国人投資の割合30%以上**
- **土地賃貸料減免**
  - **100%免除：**産業支援サービス業及び高度の技術を伴う事業で、外国人投資金額が100万ドル以上の場合
  - **75%減免：**社会間接資本の拡充・産業構造の調整または地方自治体の財政自立など、かなりの貢献をしている企業でありながら、産業通算資源部長官が外国人投資委員会の審議を経て定めた事業で、外国人投資金額が500ドル以上の企業

Ⅲ

企業支援施設ご紹介

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

韓国食品産業クラスター振興院

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

韓国食品産業クラスター振興院

韓国食品産業クラスター振興院

韓国食品産業クラスター振興院は、食品業界振興法第12条の2によって設立され、国家食品クラスターの育成と管理、入居企業・機関の活動を支援します。

支援サービス

- 原料調達から研究・製造・マーケティング・人材・輸出に至るまで入居企業の製品の生産プロセス全体を支援
- 専門コーディネーター機能を使用して専門人材が生産過程の各段階で発生する各種の問題を密着支援

食品パッケージングセンター

造成目的

食品パッケージング技術支援を通じた高付加価値化

認証状況

主な機能と役割

カスタムパッケージの改善支援

- 個別食品企業の製品特性を考慮した包装形態、紙器構造、梱包材などの改善を支援

主要装備

- カッティングプロッタ、3Dプリンターなど18種

1 **募集**
中小食品企業が保有するボトルネック技術を作成して提出
-
食品企業向け

2 **選定評価**
専門家の評価(商品化可能性など)を顧慮しテーマと規模を選定
-
選定評価委員会

3 **協約締結**
技術開発計画書の作成および条約
-
食品振興院、企業

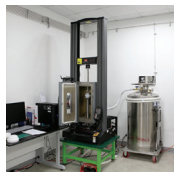
4 **課題遂行と評価**
技術開発の実行、および結果報告・精算レポート
-
食品振興院、企業

包装材の材質分析

- 包装材料の物理的特性をKS規格での試験・製作方法に
  によって試験分析
- 食品衛生法に基づく試験法で食品包装材*の有害性・安全性を
  試験・検査分析

主要装備

- 酸素透過度、水分透過度、
  万能材料試験機、HPLC、GC、
  LC-MS、GC-MSなど



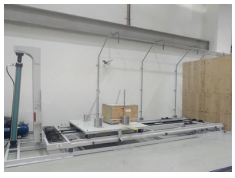
流通環境試験

- 国際安全輸送協会の輸送環境を実測したデータに対し
  「製品の安全性」と「包装適正性」検証し、最適化を支援

流通環境試験設計の流れ
各段階での正確な協議が必要

主要装備

- 環境複合振動試験機、
  落下衝撃試験機、
  ウォークインチャン
  バーなど



流通環境試験設計の流れ

- 各段階での正確な協議が必要

流通環境 変数把握	プロセス別 実験項目検討	実測データ、模写資料 検討、試験方法の設定	試験条件の協議	試験 (段階型包装適正判別)
温度条件	製品強度を確認 (試験)	関連標準の検討		報告書の作成
交通手段	積載高さ、パレットサイズ、 コンテナの寸法確認	詳細項目の実験項目		
包装形態	数量、方向を決定			
内包装形態	仕切り、輪郭などの形状、 寸法決定			
その他の条件	ボックス寸法決定、 ボックス型決定			

お問い合わせ

- 食品パッケージングセンター　063-720-0630
  packaging@foodpolis.kr

食品品質安全センター

造成目的

高付加価値製品開発の
品質管理分析と安全性
検査分析を支援

認証状況

国際公認試験機関
(KT-822)

食品など試験・検査機関
第142号

主な機能と役割

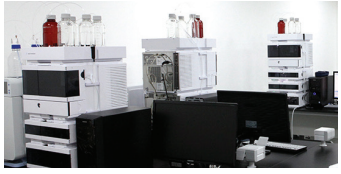
自己品質検査・分析

- 食品衛生法に準じた自己品質遂行が困難な食品メーカーの委託検査実行

自己品質検査とは？
食品衛生法に基づき、食品製造・加工業者が
自ら食品を流通・販売するために
基準・規格に準拠したか定期的に実行する検査

主要装備

- GC-FID、LC-PDA、LC-ELSD、LC- FLD
  GC-MS/ MS、培養器、水銀分析装置など22種



特殊検査・分析

- 食品衛生法に基づく原料と製品の法律指定特殊検査*

  * GMO、ノロウィルス、有害物質の中の残留農薬
    表示検査(栄養成分)、食品の安全管理の認証検査など

主要装備

- RT - PCR、PCR、ナノドロップ自動化電気泳動装置、Gel-Doc、生物安全作業台など

輸出支援(KOLAS)検査・分析

- 国際試験機関認定協力機構(ILA C)加盟国で通用可能な検査・分析
  KOLAS認証マークを含む国際公認試験機関成績書発行*

  * 約50カ国での結果通用可能

主要装備

- ICP-MS、ICP-OES、Microwave、自動希釈分注器 、培養器など

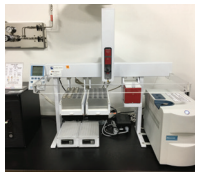
(特性化)嗜好的品質分析

- 製品の嗜好性*改善(異味、異臭など)と消費者の嗜好に符合する
  高付加価値製品の開発を支援

  * 味、香り、咀嚼感、色など食品の特性

主要装備

- 電子鼻、電子舌、電子目、
  オフラクトメータなど20種



推進の流れ(試験・検査*、KOLAS検査)

1 **依頼申請**
装備使用申請書
事業者登録証などの提出
-
入居企業と一般企業など

2 **見積算出と受付**
見積書の発行と手数料の納付、
税金計算書発行　試料と原料受付
-
食品振興院(見積書、税金計算書)
企業(手数料納付)

3 **遂行**
試験分析を遂行
-
施設設備共同活用

4 **結果通知**
成績書(結果報告書)を
依頼者に伝達
-
食品振興院

* 試験検査：自己品質検査、表示検査、食品安全管理認証チェック

推進の流れ(嗜好的品質検査・分析、特殊検査・分析)

1 **依頼相談**
試料の特性、分析回数
官能パネルと設問
(官能評価時)
試料受付日など事前相談
-
入居企業と一般企業など

2 **依頼申し込み**
機器の使用申込書、
事業者登録証などの提出
-
入居企業と一般企業など

3 **見積算出と受付**
見積書の発行と
手数料の納付、税金計算書
発行試料と原料受付
-
食品振興院
(見積書、税金計算書)
企業(手数料の納付)

4 **遂行**
試験分析を遂行
-
施設設備共同活用

5 **結果通知**
成績書(結果報告書)を
依頼者に伝達
-
食品振興院

お問い合わせ

- 食品品質安全センター　063-720-0610
  safety@foodpolis.kr

食品機能性評価支援センター

造成目的

機能性食品分野の研究と振興牽引

認証状況

KELAF
KOREA Excellent Laboratory Animal Facility
優秀動物実験施設

aaalac INTERNATIONAL

主な機能と役割

機能性原料の有効性の評価(細胞・動物)

- 健康機能食品個別認定原料の登録と機能性表示食品開発の科学的データを確保するための効能評価を支援

主要装備

- げっ歯類体成分分析、げっ歯類骨密度計、フローサイトメトリーなど33種

(特性化)機能性食品、非臨床試験専門機関(GLP)

- [概要] 健康機能食品個別認定原料登録のための安全性評価*
  * 「健康機能食品の機能性原料と基準・規格認証に関する規定」第14条
- [認証状況] 優秀動物実験施設(KELA F、'19.11.)
- [認証計画]
  - 国際実験動物管理の評価認証(AAALAC-1、'21.12.予定)
  - 非臨床試験実施機関(GLP、'21.12.予定)

人体適用試験支援

- 食品医薬品安全処 のガイドラインに準拠し、人体に適用試験をGood Clinical Practice(GC P)の原則に基づいて設計し支援*
  * 協業支援(健康機能食品の臨床試験専門機関を連携支援)

推進の流れ

1 **支援企業募集**
- 事業募集及び申請企業受付
- 資格及び書類確認

2 **選定評価**
- 遂行計画書評価(評価委員会開催)
- 受益企業最終選定

3 **協約締結**
- 技術開発計画作成および条約
- 者負担金納付

4 **事業遂行**
- 直接遂行(食品振興院100%)
- 間接遂行(用役社100%)
- 直・間接的実行(食品振興院、用役社共同)

5 **事業評価及び管理**
- 中間報告、完了報告書提出
- 完了評価(評価委員会開催)
- 事業費精算

6 **事後管理**
- 事業終了後管理
- 事業効果の測定

お問い合わせ

- 食品機能性評価支援センター　063-720-0670
  function@foodpolis.kr

パイロットプラント

造成目的

企業の技術開発から試験生産と少量委託加工まで One-stop支援

認証状況

優秀健康機能食品製造業者 GMP 食品医薬品安全処

食品安全管理認証 HACCP 食品医薬品安全処

主な機能と役割

プロトタイプの生産を支援

- 企業のプロトタイプ開発、工程改善など、装備活用生産支援*

  * 最新のトレンドなどの新技術適用した特化装備活用プロトタイプ生産支援

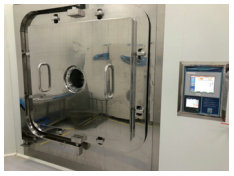
委託加工支援

- 原料やプロトタイプの市場参入のため多品種少量委託加工*支援

  * 健康機能食品の委託加工生産はGMP指定業者のみ可能

主要装備

- 超高圧殺菌器、粉体殺菌器、噴霧乾燥機など75種



生産技術とコンサルティング支援

- 生産設備活用した技術支援事業*とコンサルティング支援

*輸出型プロトタイプ製作支援、設備活用支援事業などの技術支援事業実行

装備活用支援の事例

チーズフィンガーキューブ
(凍結乾燥)

エゴマ油
(抽出・濃縮)

粉末大麦新芽若葉
(粉体殺菌)

健康機能食品(錠剤)
(打錠・コーティング)

推進の流れ(プロトタイプ生産支援)

1 **事業募集**
- 支援基準、範囲、手数料受付期間、事業者発表

2 **依頼(利用)申込受付**
- 事業者との推進日程協議
- 企業と見積書発行
- 施設・設備の使用申請書受付

3 **手数料の納付**
- 支援基準が反映された手数料の納付
- 食品振興院税金計算書発行

4 **装備活用遂行**
- 生産業務担当(装備活用依頼者)
- 装備活用遂行

5 **結果確認**
- 装備活用結果による試料とプロトタイプなどの企業受領

6 **事後管理**
- 事業遂行の結果対する事業担当者と責任者の技術相談など

推進の流れ(委託加工・生産支援)

1 **依頼申請受付**
- 事業担当者と工程条件と推進日程を協議
- 企業に見積書を発行
- 委託加工・生産申込書受付

2 **委託加工・生産契約**
- 食品振興院と協議の内容に基づき契約締結
- 生産、品質などの諸条件遵守

3 **手数料の納付**
- 支援基準が反映された手数料の納付
- 食品振興院税金計算書の発行

4 **委託加工・生産実行**
- 生産者委託加工・生産遂行(必要に応じて依頼者と共同遂行)

5 **製品引き継ぎと事後管理**
- 委託加工・生産製品企業受領
- 製品の技術相談など
- 事業遂行の結果に対する事業者と責任者技術相談など

お問い合わせ

- パイロットプラント　063-720-0651
  pilot@foodpolis.kr

食品ベンチャーセンター

造成目的

賃貸スペース提供、技術開発、輸出支援などを通じて有望中小企業の成長牽引策を提供し、融合複合食品技術を活用した革新創出支援システム構築で、食品ベンチャー・創業生態系を造成

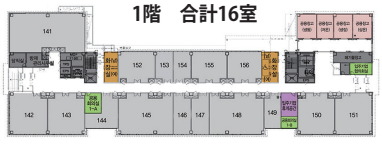
主な機能と役割

食品専用賃貸工場運営

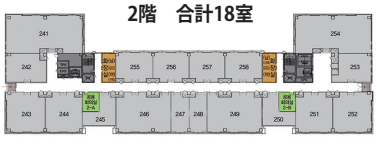
- [概要] 食品産業の特性別カスタマイズ型食品専用賃貸工場の構築*・運営**
  * HACCP、GMP、ISO22000基準を満たした賃貸工場の構築後、入居企業の特徴を反映した入居空間内の個別施設工事の推進が必要
  ** 室別水道、ガス、電気、排水処理などの企業特性別ユーティリティと共同倉庫を提供
- [施設状況] スペース合計52室、共同倉庫、会議室、一般・貨物E/ Vなど

主な施設

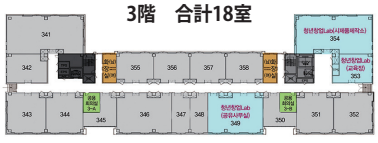
1階　合計16室



2階　合計18室



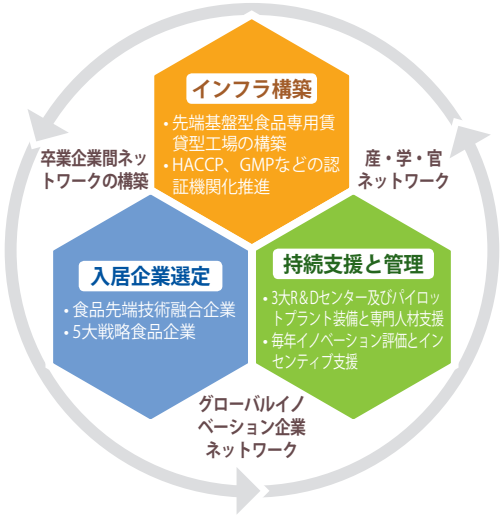
3階　合計18室



入居企業選定及び育成支援

- [概要] 国家食品クラスターの核心戦略品目と先端融複合食品技術保有企業を中心に選定*し、国家食品クラスターの有効化を図る
  * 入居企業審議委員会の審議(経営能力、技術力、事業性)を通じた適格企業選定
- [入居状況] 52室中、入居39社48室、目的事業3室使用中

主な機能



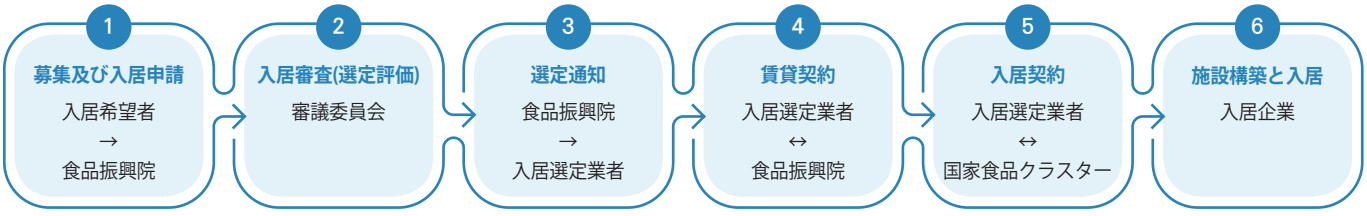
入居企業モニタリング(事業評価)

- [概要] 食品ベンチャーセンター入居企業の事業計画を誠実履行、事業性と評価を通じて、経営状態の改善を図り*優秀企業へ集中支援
  * 事業点検結果別(優秀/通常/不十分など)、後続対応を通じた企業の成長モチーフ提供
- [評価基準] 事業計画の推進状況と活動/当初の事業計画書と一致するかどうかなど*
  * 定量(雇用、成果の確保、対/内外連携、財務健全性など)、定性(事業実施、計画の充実度など)、現場点検(誠実営業、施設の構築実績など)

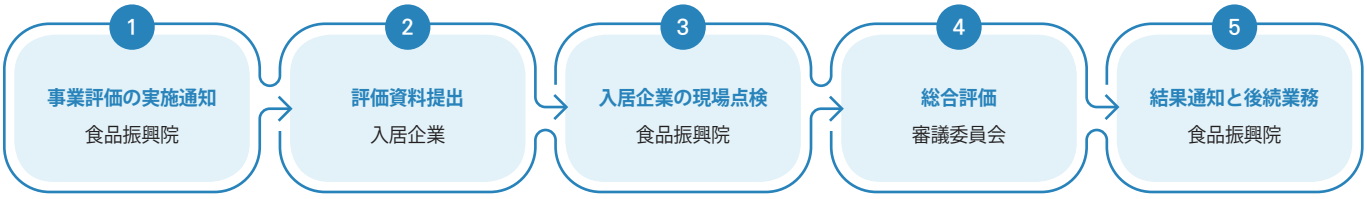
推進の流れ

事業評価の実施通知	評価資料提出	現場点検	総合評価
食品振興院	入居企業	食品振興院	審議委員会

推進の流れ(入居企業募集・選定)



推進の流れ(入居企業の事業評価)



お問い合わせ

- 食品ベンチャーセンター　063-720-0567

ソース産業化センター

造成目的

発酵原料ベースのソース産業支援を通じた未来同伴新成長産業の育成のための基盤作り

認証状況

食品安全管理認証 HACCP 食品医薬品安全処

主な機能と役割

ソース商品化を支援

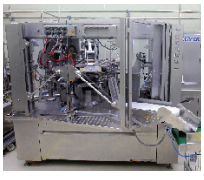
- 需要先のニーズに合わせた製品開発と商品化を支援(プロトタイプ、受託生産など)

ソース技術支援

- 技術支援事業を遂行(単独、産学研連携など)製品開発、事業化などを支援

主要装備

- 配合タンク、ロータリー包装機など52種



プロトタイプ開発

- 2020年プロトタイプ開発事例

鶏の胸肉のパック

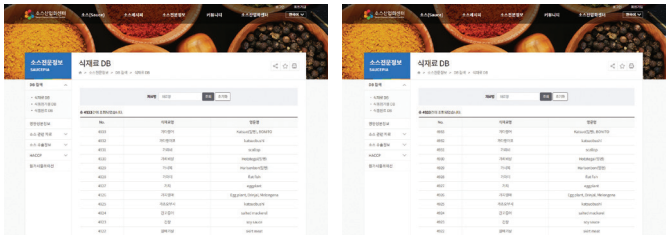
カルビ味付けソース

ソース情報支援

- ソースレシピ、市場などの産業情報、輸出のための基準規格及び原料などの情報をDB化して提供

ソース情報DB

- レシピ、食材、添加物などのDB構築



推進の流れ(試作品生産を支援)

1. **申請受付**
   - 生産工程協議
   - 見積書発行
   - 施設・装備使用申込受付
2. **手数料納付**
   - 依頼企業の機器の使用料納付
   - 食品振興院依頼企業に税金計算書の発行
3. **装備活用**
   - 依頼企業主管での製品生産進行
   - 食品振興院装置の使用方法、注意事項などの生産協力
4. **結果確認**
   - 生産製品の特性分析(色、味、香りなど)
   - 生産工程の特性分析(改善点の把握)
5. **事後管理**
   - 品質と生産プロセスの改善の相談
   - 商品化(賞味期限、品目レポートなど)の注意事項などの相談

推進の流れ(委託加工・生産支援)

1. **申請受付**
   - 生産工程協議
   - 完成品の品質規格協議
   - 委託生産の要請受付
2. **委託加工生産契約**
   - 食品振興院と協議の内容に基づき契約
   - 見積書発行
   - 委託生産申込受付
3. **手数料納付**
   - 依頼企業委託生産手数料の納付
   - 食品振興院依頼企業に税金計算書の発行
4. **委託生産**
   - 依頼企業と食品振興院協業を通じた製品の製造
   - 依頼企業は、品質、包装状態などの製品を確認
5. **結果と事後管理**
   - 生産製品企業受領
   - 品質規格書発生
   - 製造工程、流通期限、品質の改善の相談

お問い合わせ

- ソース産業化センター　063-720-0660
  sauce@foodpolis.kr

HMR技術支援センター

造成目的

国家食品クラスター入居企業と、食品・関連企業・機関との共同技術開発支援で、先進HMR製品関連の技術力の確保、企業の競争力向上と高付加価値HMR事業育成

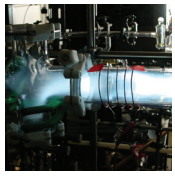
主な機能と役割

非熱処理殺菌技術支援

- 国内唯一の比熱殺菌食品技術の商用化を支援
- 物理的加熱殺菌のほか、抗菌剤などの化学中間殺菌処理の研究開発を支援

主な機能

- プラズマ処理による殺菌、光パルス磁場による殺菌



代替肉加工技術支援

- TVP中心の代替肉加工技術の確保と商品化を支援

主な機能

- 食肉製品咀嚼感を実現

知能型エコ包装技術支援

- ポストコロナ非対面包装技術の専門支援
- パッケージ廃棄物減量のための環境に優しい包装技術開発を支援

主な機能

- リサイクル性向上のためのPETボトルの包装、印刷電子基盤の知能型包装

農食品原料中継供給センター('21年竣工)

Agri-Food
Distribution Center

造成目的

入居企業が必要とする
農食品原料を、一年中
安定的な中継・供給できる
低温保管施設及び
供給連携システムの構築

事業規模

- **総事業費：**195億ウォン*
  * (国費100%)
- **事業期間：**'19~'21年(3年)
- **支援資金用途：**設計費、建設費など

主な機能と役割

農食品原料貯蔵・保管

- 様々な原料や商品を保管できるように、冷凍/冷蔵/常温など、温度帯別に管理可能な物流倉庫社屋構築
- 品目特性別の区画区分ができるように設計
- 物流の効率を高めるためにITが結合した一括的な物流システムの構築

農食品原料中継支援

- 入居企業の国内原料農畜産物の調達が容易になるよう、さまざまな情報の提供、交渉、契約進行を支援
- 農食品原料農産物の入庫形態(原物、前処理)認証、配送、取引条件など、入居企業別の特性に合わせた供給先DB構築/管理
- 大量需要品目の加工用原料供給先(産地、メーカー)の発掘と管理

高付加価値情報伝達

- 中継供給センターの商品入荷と出荷などの段階で生成された情報を該当企業に提供
- 原料農産物産地情報、価格情報(卸売市場)、作況や消費動向など、企業経営に有益な情報を提供

機能性食品製剤センター('22年竣工)

造成目的

中小機能性食品企業の製剤関連の隘路事項に対するサービスを担当するための支援施設の構築

事業規模

- **総事業費：**176.4億ウォン*
  * (国費100%)
- **事業期間：**'19~'22年(4年)
- **支援資金用途：**設計費、建設費、装備費など

主な機能と役割

製剤素材開発(新製剤・製剤に関する研究)、機能性食品製剤の生産を支援、産学研ネットワーク連携構築

- 機能性食品製剤技術支援
- 液状製剤少量委託生産を支援
- 産学連ネットワークの構築
- 製剤適合性評価支援
- 情報提供とHUB構築
- 海外先導技術導入

主要装備

- 液状及びゼリー剤形の生産設備(スティック、パウチ、スパウトとPETボトルなど)、包装機器(カートナー等)と製剤安定性分析装置(崩解度測定器、レオメーター等)、剤形の研究機器など83種

青年食品創業センター('23年竣工)

Young Startup
Square

造成目的

食品分野の創業希望者に
試作品の製作機会と、
創業教育・スペース提供など、
創業の全過程を支援する
複合施設・空間の構築

事業規模

- **総事業費：**266.44億ウォン*
  * (国費100%)
- **事業期間：**'20~'23年(4年)
- **支援資金用途：**設計費、
  建設費、装備費など

主な機能と役割

プロトタイプ製作支援

- 多品目少量生産カスタム装備構築
- アイデア - プロトタイプ - 完成品の生産システム

農食品産業共生協力支援

- 関係機関の有機的な協力体系を構築
- 国内農産物の消費拡大を推進

創業段階別カスタム創業支援

- 食品創業全分野one-stop支援
- 予備 - 初期 - 飛躍の段階別カスタムトレーニング
- 食品振興院内外の優秀メンター確保・支援

開放型支援システムの構築

- 創業ハブ内体験空間運営
- 会員登録を通じた会員構成
- 有機的協業を通じた支援対象拡大

機能性原料バンク('23年竣工)

造成目的

国産農産物由来の機能性食品素材の開発と農業 - 食品産業との連携

事業規模

- **総事業費：**150億ウォン*
  * (国費105、地方費45)
- **事業期間：**'20~'23年(4年)
- **支援資金用途：**設計費、建築費、装備費、運営費など

主な機能と役割

機能性素材の標準化•規格化

- 健康機能食品個別認定原料の登録のための機能(指標)成分の設定と分析法の開発

国内農食品素材の標準化試料の分量

- 機能成分の候補物質探索と分析確立された農食品素材の分譲

主要装備

- LC-Q-Tof、GC-MS、分離精製装置など

Ⅳ

企業育成・支援プログラム

THE FOOD INDUSTRY PROMOTIONAL AGENCY OF KOREA

韓国食品産業クラスター振興院

ビジネス相談所

事業目的

- [オフライン] 企業経営と工場運営中に発生する困難(法務、会計/税務、労務、資金、環境、建築、安全管理、輸出入、10分野)を簡単かつ迅速に解決するために食品振興院内にビジネス相談所を運営
- [オンライン] カカオトークプラスチングで、単純な事業公示や通知機能だけでなく、食品振興院の問い合わせに即座に対応するオンライン要請応対サービスに活用

事業概要

- [支援対象] 入居(分譲・ベンチャー)企業
- [支援形態]
  - (オフライン) 企業相談10分野別経歴保有者のPoolを構成し、専門家とのマッチングで、入居企業の困難解消を支援
    - 収集した問題点を分野別に分類、当該専門家が対面諮問を原則的に推進
  - (オンライン) 食品振興院カカオトークプラスチングのチャンネルを介して支援事業公示、食品産業の課題など、様々な情報を提供し、チャットボットによる相談を行う

推進の流れ

1. **企業困難発掘**
   - 企業訪問、来訪、懇談会、電話相談などを通じ、相談ニーズを発掘
2. **相談申請/受付**
   - 入居企業が相談申込書に問題事項を記載し、電子メールで申請及び受付
3. **専門家マッチング**
   - 収集した問題点を分野別に分類、該当専門家マッチングと相談日程調整
4. **専門家諮問**
   - 専門家が対面諮問を行い、諮問結果を提出
5. **後続管理**
   - 着・竣工企業の場合、随時訪問(来訪)または電話により持続管理

カカオトークメッセンジャー相談利用プロセス

カカオトークにアクセス → カカオトークチング検索 → 「韓国食品産業クラスター振興院」を入力 → 友達追加 → 「チャット」をクリック → ホームメニュー選択(質問選択) → 該当質疑応答完了or未解決時の担当者の連絡先案内(063-720-0560) → 問題解決

お問い合わせ

- 企業支援センター　063-720-0560

食品創業踏み石技術支援

事業目的

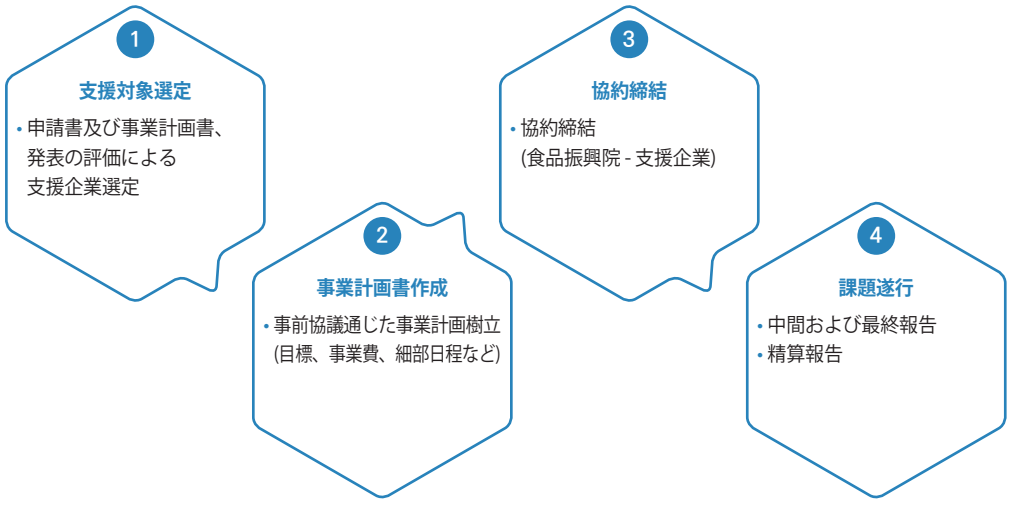
- 食品分野の創業企業向け商品化の検証とプロトタイプ製作支援

事業概要

- **[支援対象]** 食品分野創業企業
  * [中小企業創業支援法]第2条の規定による創業者の中の[中小企業基本法第2条第2項の規定による小企業
- **[支援条件]** 支援金：企業負担金＝80：20(現金)
  * 入居企業(ベンチャーセンター)の基準であり、累積支援金額に応じて、企業負担金差分支援
- **[支援内容]**

区分	支援内容	
商品化の検証	機能性評価	- 健康機能食品開発のための技術支援など (原料の標準化、有効性評価、GLP安全性試験(単回、反復、遺伝毒性))
	品質安全	- プロトタイプ品質向上・安全性検査など商品化の検証を支援
	食品パッケージング	- 消費者の利便性を強化、革新包装技術支援 (ユニバーサルパッケージ、アクティブ/パッシブパッケージングシステムなど)
	ソース産業化	- 商品化技術支援(レシピ開発やプロトタイプ製作)と試験生産 (Test Bed)などの技術支援
プロトタイプ製作	パイロットプラント	- 液状剤形(PET、スパウト、バイアル、液状スティック) - 固形剤形(顆粒スティック、カプセル、打錠)
	ソース産業化	- 抽出・濃縮(スープ、エキス)、加熱・撹拌(ソース)、乳化(ドレッシング)、レトルト殺菌 - 包装工程(PET、ガラスびん、パウチ、カップシーラー、液状スティック、バルク)

推進の流れ



お問い合わせ

- 技術支援処　063-720-0542

青年食品創業Lab

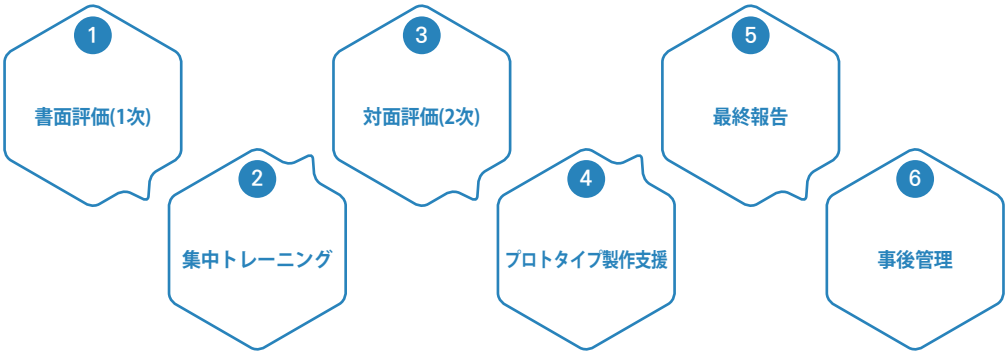
事業目的

- (予備) 青年食品創業者にプロとタイプ製作機会を提供し、能力強化トレーニング、投資連携支援を通じて事業化の成功率の向上と青年雇用創出に貢献

事業の概要

- **[支援対象]** 食品創業を準備している大学(院)生、一般青年(満39歳以下)と5年未満の食品創業企業
- **[支援期間]** 協約の日より4ヶ月(評価を通じて優秀チーム選抜及び追加支援可能)
- **[支援内容]**
  - プロトタイプ製作とテスト支援(空間*費用**、消費者の試食品評会など)
    - * オープンキッチン装備、空間、会議室など
    - ** メンタリング、材料費、交通費、装備使用料、検査分析費など(資本性物品購入不可)
  - 創業・事業化能力強化トレーニング*およびメンタリング**支援
    - * (教育) 食品、創業、経営、投資分野別教育進行
    - ** (メンタリング) 6分野(経営、投資、食品など)の専門家メンターPOOL保有及び連携メンタリング支援
  - 修了企業事後管理*投資の連携**支援
    - * 事業化現状モニタリング、ネットワークデー開催及び関連機関支援事業の連携など
    - ** IRデモデーを通じた投資連携機会を提供

推進の流れ



人材育成支援

事業目的

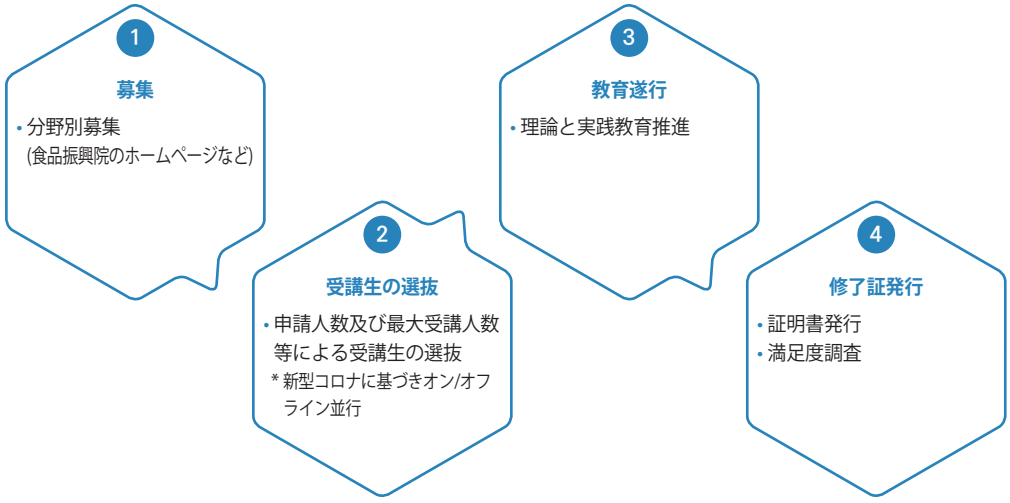
- 食品振興院のインフラを活用したオン・オフライン人材育成教育支援

事業の概要

- **[支援対象]** 食品企業従事者、予備創業者と就業者など
- **[支援内容]**

事業分野	事業内容
品質安全	微生物分析、品質分析実務教育(食品コード分析法など)
機能性評価	健康機能食品の開発のための機能性評価教育
食品パッケージング	食品包装構造解析及び品質の分析実務教育
生産分野	生産管理・生産設備の実務及び許認可運営教育
製剤分野	製剤開発の実務教育(飲料、粉末、顆粒など)

推進の流れ



お問い合わせ

- 技術支援処　063-720-0542

人材及びマーケティング支援：
ビジネス活性化支援

食品企業雇用支援

事業目的

- 入居企業の雇用安定化　新規雇用創出支援

事業概要

- **[支援対象]** 分譲と入居企業(ベンチャーセンターを含む)
- **[支援条件]** (新規採用) 21年新規雇用(正社員)採用後2ヶ月以上勤務維持
  (雇用維持) 事前に就職インターン支援事業で支援を受け、12カ月以上の雇用を維持している竣工/ベンチャー企業
- **[支援内容]** (雇用支援) 新規採用と雇用維持に区分して支援
  労働者1人当たり月に1,000千ウォン、最大6ヶ月支援、最大20人まで

<企業設立段階別　新規採用支援限度>

ベンチャー・分譲	着工	竣工1年目	竣工2年目～
最大2人	最大10人支援	最大15人支援	最大20人支援

(採用マッチング) 入居企業の人事担当者と関係機関の連携、人材需要の把握による人材マッチング

推進の流れ

1. **参加企業募集広告**
   - (募集) 食品振興院ホームページ及び統合支援ポータルで募集
   - (審査) 申請書類による参加希望企業選定
2. **採用人員募集広告**
   - (募集) 食品振興院及び関係機関ホームページなどに公告掲載
   - (審査) 食品振興資格審査と参加希望の企業を面接選考
3. **参加企業・採用担当者選定**
   - 選定評価書に基づいて定量評価得点順に選定
4. **約定と協約締結**
   - 雇用支援協約
     - 参加企業と食品振興院との協約
   - 採用約定締結
     - 参加企業と採用者との協約
5. **事業管理**
   - 支援金支給
     - 勤務給与と証明資料確認後支給
6. **結果報告と精算**
   - 結果報告
     - 人材受給支援策準備のための基礎資料を活用

お問い合わせ

- 企業誘致支援部　063-720-0575

物流・マーケティング支援

事業概要

- **[支援対象]** 分譲と入居企業(ベンチャーセンターを含む)
- **[支援条件]** 支援金：企業負担金＝70：30(現金)
- **[支援内容]** 企業ごとに最大2件の支援*

* 1件当たり20,000ウォン(ただし、TVショッピング支援33,000ウォン)

① 前年度の2種項目のコンサルティングを受けた企業→今年度はコンサルティング1種選択可能
② 前年度に受けたコンサルティングは今年度選択不可

分野	支援内容
物流	- 物流プロセス中長期運営戦略/品質革新、浪費削減、在庫管理、物流費削減、コールドチェーン
	- 物流ITシステム革新、Eコマース、物流改善方案の提示、物流センターLay-Out、設備、装備などの生産性の向上に関連
マーケティング	- SNSマーケティング、オン・オフライン広告・イベント、TVコマース
	- 体験見学などのための企業シンボルデザイン・制作
	- 製品紹介制作物など
販路	- 特許・認証、現地市場流通消費実態調査、消費者調査
	- バイヤーの信用調査、通訳翻訳、バイヤー招待(食品輸入実績年間100万ドル以上の企業)
	- 輸出コンサルティング、原産地管理コンサルティング
	- TVショッピング番組入店など

推進の流れ

1. **コンサルティング機関募集**
   - 支援分野別コンサルティング機関募集
   - 適正性評価によるコンサルティング機関構成完了
2. **支援企業募集(21.1～2.)**
   - 事業公告及び適用企業受付
   - 資格、書類及び重複性を検討
3. **コンソーシアムの構成**
   - コンソーシアム(企業、コンサルティング機関)の構成
   - 細部事業計画と選定評価を共同準備
4. **選定評価**
   - 選定評価会の開催による企業別の詳細事業計画書の評価
   - 支援企業(コンソーシアム)最終選定
5. **協約締結**
   - 協約書及び物流マーケティング支援計画書の作成
   - 協約締結
6. **課題遂行**
   - 事業実施
   - 事業中間点検実施
   - コンサルティング最終評価
   - 事業費精算

お問い合わせ

- 企業誘致支援部　063-720-0564

ビジネスプラットフォーム支援
(オン・オフラインフードマーケット)

事業概要

- **[支援対象]** 国家食品クラスター団地内企業のフードマーケットに入店を希望する企業
- **[支援条件]** ①竣工企業、②着工企業、③分譲企業、④ベンチャー入居企業、⑤青年食品創業Lab修了者
- **[支援内容]** オン・オフラインフードマーケット(共同常設店)の運営を通じた製品の展示・広報・販売支援
  - 国内の食品産業前・後方企業の初期市場進出による隘路解消を支援するためのワンストップ支援システムの構築(主な製品の展示、販売、広報、発送対応等)支援
  - 非対面・非接触の消費トレンドを反映した食品企業双方向情報共有プラットフォーム(BtoB、BtoC)を構築・運営して入居企業の販路開拓の活性化を図る

支援分野		支援内容
オフライン展示売り場(フードマーケット)		- 食品振興院内常設店の運営を通じた製品の展示・広報・販売支援
オンラインプラットフォーム	BtoB	- 企業間の企業・製品情報共有と相互の情報交流のためのオンラインビジネスプラットフォーム運営 ·企業・製品情報交流、バイヤーオンライン商談会の開催、製品サンプルの問い合わせ、食品情報DBの共有など各食品企業に合わせた情報交流支援
	BtoC	- 食品企業専用のオンラインショッピングモール(FOOD POL IS)運営 ·オンラインモール展示・販売、ライブコマースなど、オンラインマーケティング支援

- **[募集時期と支援期間]** 随時

推進の流れ

1. **運営会社募集・選定**
   - 募集及び申請受付(調達庁)
   - 申請書を確認し、選定評価
2. **入店企業募集・承認**
   - 募集と入店申請受付
   - 申請書を確認及び適格性評価
   - 入店企業の最終選定・資格
3. **会員・製品分類**
   - 入店企業及び製品カテゴリー別分類
   - プラットフォーム(B2B、B2C)製品分類
4. **運営支援**
   - オン・オフビジネスプラットフォーム運営
   - コンサルティング(バイヤーマッチング)を支援
   - 販促プロモーションを支援
5. **事業モニタリング・成果広報**
   - 入店企業活動の評価
   - 業績分析
   - 主な成果の広報及び通知
6. **最終報告・事後管理**
   - 最終報告
   - 事業費精算
   - 成果追跡・管理

お問い合わせ

- 企業誘致支援　063-720-0563

専門コーディネーター連結支援
(短期技術支援)

事業目的

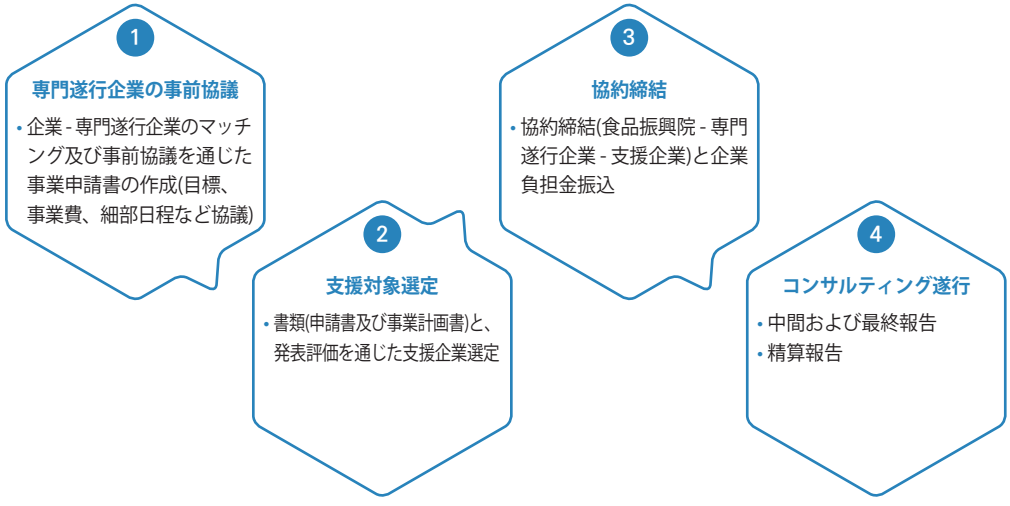
- 専門コーディネーターを活用、連結し、企業の問題を解決

事業概要

- **[支援対象]** 分譲と入居企業(ベンチャーセンターを含む)、投資有望企業
- **[支援条件]**
  - 支援金：企業負担金* = 80：20(現金)
    * 入居企業(ベンチャーセンター)の基準であり、累積支援金額に応じて、企業負担金差分支援
  - 1順位(竣工企業、前年度未支援企業) 2順位(着工企業、ベンチャーセンター) 3順位(分譲企業)
- **[支援内容]**

区分	支援内容	
包装改善	包装設計、材質検討、デザイン開発など* * 単純デザインの支援は止揚	
技術コンサルティング	企業中長期発展戦略と課題の企画、国際品質認証など	
施設認定	HACCP概念設計、有機加工、伝統食品認証など	
	HACCP認証コンサルティング	小規模
		一般
	FSSC22000, ISO22000	
	GMP概念設計	
	GMP認証コンサルティング	
	スマート工場(HACCP)	

推進の流れ



お問い合わせ

- 技術支援処　063-720-0542

技術開発支援：韓国食品世界へ
技術支援(中期技術支援)

事業目的

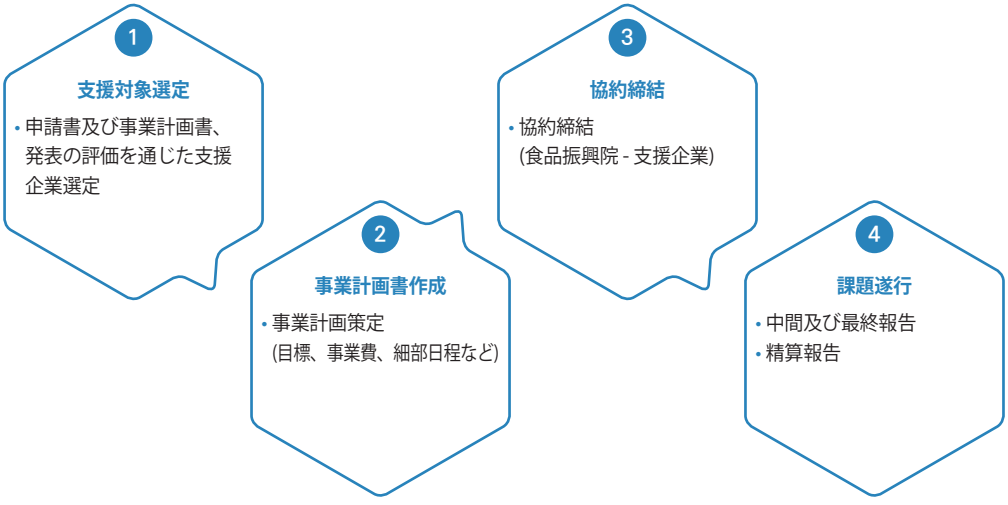
- 食品振興院インフラ(人材、設備、施設など)を活用した食品企業の技術支援

事業概要

- **[支援対象]** 分譲及び入居企業(ベンチャーセンターを含む)、全国の中小・中堅食品関連企業
- **[支援条件]**
  - 支援金：企業負担金* = 80：20(現金)
    * 入居企業(ベンチャーセンター)の基準であり、累積支援金額に応じて、企業負担金差分支援
  - 分譲・入居企業優先支援
- **[支援内容]**

分野	単位事業	支援内容	
韓国食品世界へ	レシピの改善と消費者調査	加工食品の技術開発のためのレシピの改善と消費者調査	
	機能性食品	健康機能食品個別認定原料の登録及び機能性表示 食品の開発のための有効性評価と安全性評価	原料標準化 効能評価 GLP毒性
	包装改善開発	包装と構造設計、材料検討、環境に優しい包装コンサルティング等	
	ワンストップ商品化	健康機能食品、ソース、その他の加工食品の製造工程の標準化とプロトタイプ制作など	

推進の流れ



お問い合わせ

- 技術支援処　063-720-0542

開放型装備の共同利用支援

事業目的

- 技術支援設備と生産設備を、入居企業と食品関連機関などに共同利用支援

事業概要

- **[支援対象]** 入居・分譲企業、全国中小企業、予備創業者など
- **[支援基準]**

区分	最大支援額*(千ウォン)		企業負担率(%)	
	入居企業	ベンチャーセンター	入居企業、ベンチャーセンター	非入居企業**
技術支援機器の共同利用	20,000	15,000	20	50
生産設備の共同利用	25,000	20,000	20	50

* 入居企業(ベンチャーセンターを含む)が、支援金限度消費時、追加支援検討(最大10,000千ウォン)
** 食品など、中小企業、創業・ベンチャー企業、予備創業者(創業支援事業などの証拠書類)を支援

- **[支援内容]**

	支援内容	担当部署
試験・分析	技術支援部内の技術支援装備の共同利用と分析支援	品質保証、包装、機能性評価
プロトタイプの生産	試験生産、商品化のための生産設備を活用支援	パイロットプラント、ソース産業化センター

推進の流れ

1. **事業申請**
   - 分析依頼書と事業者登録証の提出
2. **手数料の納付**
   - 見積算出及び企業負担金納付
3. **試料受付**
   - 試料伝達
4. **分析遂行**
   - 装備を活用して分析遂行
5. **成績書発行**
   - 入金確認後、発行

お問い合わせ

- 代表電話　1666-0204
- 品質安全チーム　safety@foodpolis.kr
- 機能性評価チーム　function@foodpolis.kr
- 食品パッケージングチーム　packaging@foodpolis.kr
- パイロットプラントチーム　pilot@foodpolis.kr
- ソース産業化チーム　sauce@foodpolis.kr
- 機能製剤化　style@foodpolis.kr
- HMR 産業化チーム　hmr@foodpolis.kr

ソース伝統醤類　革新成長支援

事業目的

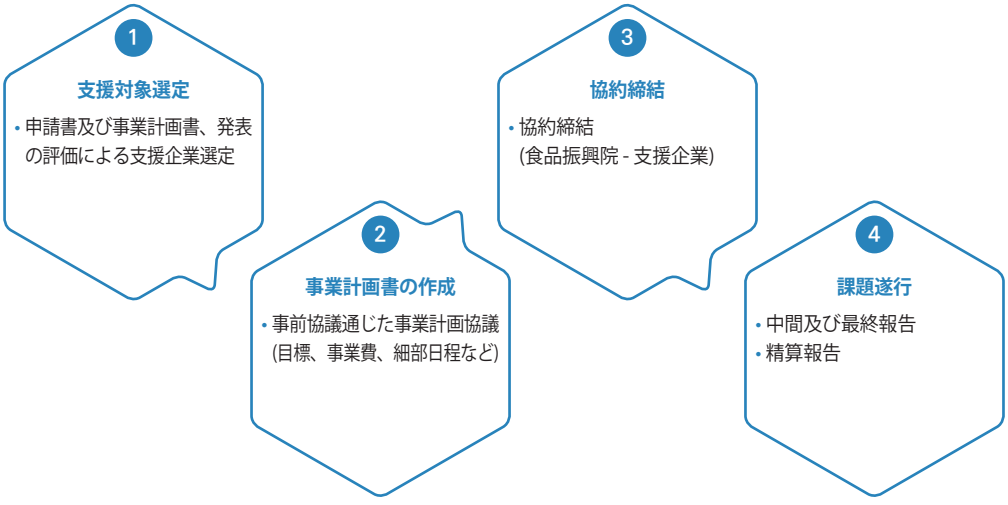
- ソース・伝統発酵食品企業の製品開発技術力の確保、新製品開発支援を通じた企業競争力の強化と収益増大を支援

事業概要

- **[支援対象]** 分譲と入居企業(ベンチャーセンターを含む)、全国の中小・中堅食品関連企業
- **[支援条件]** 支援費：企業負担金 = 75：25(現物20、現金5)
- **[支援内容]**

支援分野	支援内容
ソース伝統醤類活用商品化を支援	- レシピの開発、生産工程の標準化を通じたソース製品の商品化(プロトタイプ開発) ·製造工程[抽出・濃縮(スープ、エキス)、熱・攪拌(ソース)、乳化(ドレッシング)、レトルト殺菌] ·包装工程[PET、ガラスびん、ポーチ、カップシーラー、液状スティック、バルク]
次世代基盤技術開発	- (未来有望食品) 未来有望食品に適用可能な原料素材活用のソース製品開発 - (発酵ソース開発) 伝統醤類を活用し、ソース原料素材化ソース製品開発 - (ソース素材開発) 国産農産物(地域特産物)加工によって開発されたソース素材を活用した製品開発 - (核心技術開発) 発酵原料の前処理、殺菌技術、有害物質管理などのソースに関連する重要な技術の発掘を通じた技術基盤の構築と商品化適用

推進の流れ



お問い合わせ

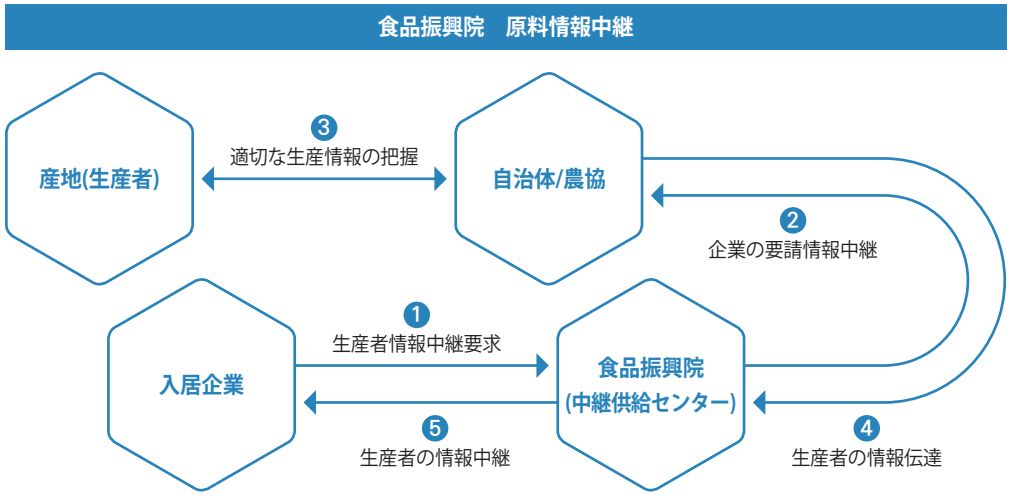
- 技術支援処　063-720-0542

国内農産物原料中継支援

事業目的

- 食品振興院は、入居企業の原料関連情報中継要請時、入居企業の要請項目、数量、価格などの情報を自治体/農協に渡し、適切な生産情報を把握した後、生産者及び原料の関連情報を入居企業に中継伝達することにより、入居企業が必要とする原料の確保を支援する原料関連「情報中継」の役割を遂行

推進の流れ



お問い合わせ

- 原料中継供給チーム　063-720-0552

圏域別産学研 協議体技術支援

事業目的

- 地域別産学研協議体を通じた企業の技術開発・生産・事業化・市場化競争力の強化

事業概要

- **[支援対象]** 圏域別産学研協議体(企業、大学、自治体研究所など)
- **[詳細内容]**
  - 産学研協議体運営：圏域別の将来有望な食品特化分野
    - 協議体の構成：特化分野に関連する企業・大学・研究所・支援機関・関連サービス企業などのメンバーで構成
  - 産学研ネットワーク：共通の目標を達成するための各種セミナー、ワークショップ、フォーラム、教育などの活動を通じて、協力課題を発掘し、協業する全周期の活動を支援

区分	ネットワーク活動の類型
ネットワーク活動	- 技術セミナー、ワークショップ、会議、フォーラム、共同教育
	- 共同課題発掘、企画、ワーキンググループなどのプロジェクト活動運営
	- 政策と事業説明会
	- 地域別、圏域別協議体総会

- 協議体運営事業：共同協力技術支援

<協力技術支援>

区分	支援プログラム	支援内容
産学研協議体運営事業	プロトタイプ製作	プロトタイプ製作　装備など
	現場カスタマイズ教育訓練	従業員の教育支援(単純教育を除く)
	R&BD企画コンサルティング	R&BD課題企画費用

推進の流れ

1. **協議体募集**
   - 事業公告及び適用企業/機関受付
2. **選定評価**
   - 書類の評価と発表評価などを通じた支援対象選定
3. **協約締結**
   - 協約締結と協議体運営
4. **事業遂行**
   - 中間報告(点検)と最終報告
5. **事後管理**
   - 事業費精算及び成果追跡

お問い合わせ

- 技術支援処　063-720-0542

産学研交流協力の現状

国家食品クラスター 国際カンファレンス

2012
第1回　国際カンファレンス 2.21
食品産業の未来と食品融合・複合化

第2回　国際カンファレンス 11.14
国内食品企業のグローバル食品市場
進出のためのフードポリスの役割

2013
第3回　国際カンファレンス 5.15
2020グローバル食品市場の展望

2014
第4回　国際カンファレンス 11.14
食品産業の変化の時期!
革新と創造的挑戦

2015
第5回　国際カンファレンス 11.17
グローバル食品実用化　R&D技術

2016
2016国家食品クラスター技術フォーラム 11.3
革新的な食品実用化技術

2017
11.15 **第7回　国際カンファレンス**
消費者のための食品
飲料分野の先端技術

2018
10.30 **第8回　国際カンファレンス**
食、過去、現在そして未来
"HMRから3Dフードまで"

11.27 **第2回　第4次産業革命　国際シンポジウム**
食品業界における第4次産業革命と
国別適用事例

2019
6.25 **第9回　国際カンファレンス**
食品の味！国家食品クラスターが尋ね、
世界が答える

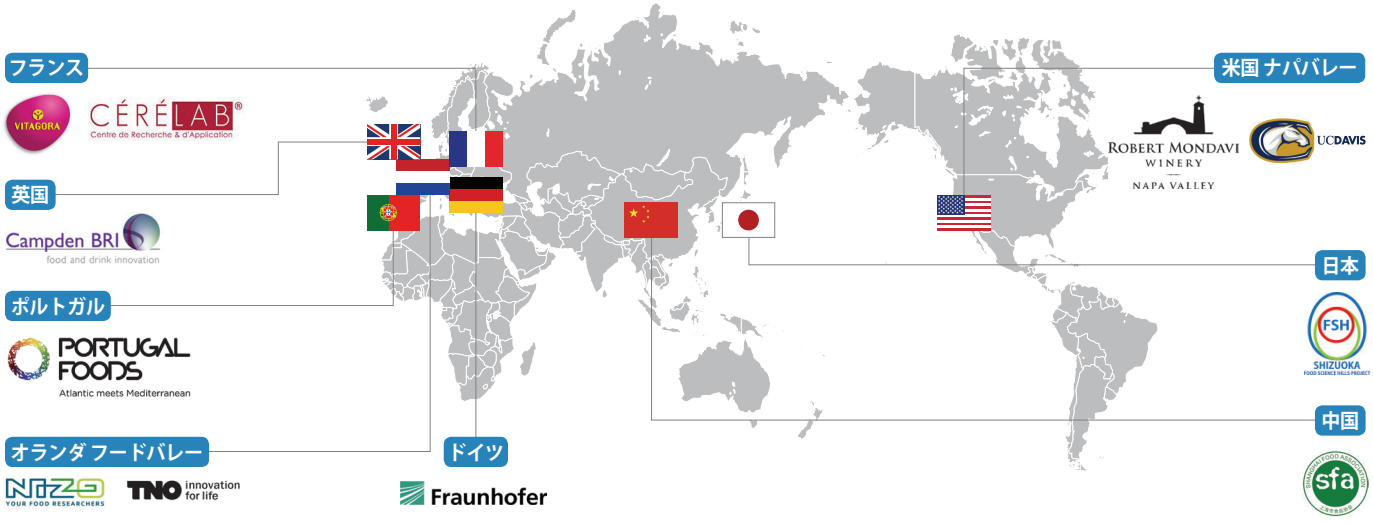
2020
7. 15 **第10回　国際カンファレンス**
新型コロナに備える健康食品市場戦略

DLG国際食品品評会

- 2019年9月25日～26日に開催(国内初)
- 130年の伝統、世界最大の食品品質コンテスト
- 韓国食品産業クラスター振興院、韓国肉加工協会、ドイツ農業協会共同主管

国際研究機関との活発な交流

- 13カ国*/28ヵ所とMOU締結



* 13カ国(米国、英国、フランス、ドイツ、オランダ、イタリア、スウェーデン、ベルギー、ポルトガル、中国、日本、マレーシア、シンガポール)

食品企業のための付帯施設

貸館施設

- **[利用対象]** 食品クラスター入居企業、国家機関及び地方自治体、公共機関など
- **[利用可能時間]** 平日：09:00～18:00
- **[お問い合わせ]** 063-720-0531

セミナー室(小)

セミナー室(中)

セミナー室(大)

国際会議室

多目的ホール

コミュニケーション空間

- 新型コロナ発生による非対面業務の需要増加や政府のデジタルニューディール政策へ積極的に対応するために、食品振興院1階「コミュニケーション空間」にビデオ会議室を構築
- 食品振興院ビデオ会議室は、最新のビデオ会議システムと大画面を活用して、グループビデオ会議ができるように造成(最大7人)し、海外輸出関連会議、オンライン相談など様々な活用が可能
- **[お問い合わせ]** 063-720-0531

コンビニ

- 農協ハナロマートのコンビニブランドである「ハナロミニ」。食品振興院本館1階に約60坪(200㎡)の規模で益山園芸農協が運営
- 毎日配送の生鮮食品・インスタント食品(HMR)と、生活用品・文具類販売とともにカフェテリア型の設備を用意して、国家食品クラスター入居企業の労働者と訪問者に寄り添う入居労働密着型のコンビニエンスストア
  - カフェ型アメニティ施設
  - インソールサービス
  - ビジネスゾーン(ZONE)
  - 宅配便発送サービス
  - インスタントラーメン調理器

アクセス

全羅北道益山市王宮面国家食品路100(54576)

自動車(ナビゲーション)を利用してお越しの場合

① 「国家食品路100」を道路名住所で検索
② 団地内の案内板を参考に、本館裏側の駐車場に進入

バスを利用してお越しの場合

① 益山KTX駅、益山公用バスターミナル前
- 座席バス555(駅前、北部市場、金馬、鳳東、金馬北部市場、駅前)(大韓通運)乗車
- 韓国食品産業クラスター振興院入口で下車

② 全州バスターミナル
- 一般バス554番(全州家族ランド、コアル2次)(金岩1洞事務所)乗車
- 鳳西小学校コアルアパート停留所で下車
- 555(駅前、北部市場、金馬、鳳東、金馬北部市場、駅前)(鳳西小学校コアルアパート)乗り換え
- 韓国食品産業クラスター振興院入口で下車

タクシーを利用してお越しの場合

① 益山KTX駅、ターミナルから韓国食品産業クラスター振興院までタクシーで約30分

食品革新

あなたの夢を叶えます

韓国食品産業クラスター振興院